

特色ある活動及びプログラム、自慢できること

(1) 子ども冬まつり

子ども冬まつりは、町内の地域子ども会に所属する会員相互の親睦と交流並びに子ども達の健全育成の推進を図るとともに、冬季期間の健康増進と体力づくりに資することを目的として、昭和57年から現在に至るまでの永きにわたり開催しており、近年は南十勝地域子ども会交歓会を兼ねて隔年で実施しています。

当初は、宝探しゲームや雪像づくりコンテスト、雪山で遊ぶそりすべり、マウンテンバイクのコースで競うタイムトライアルなどを行っていました。近年は、大樹中央運動公園スケートリンクを会場に、ドキドキふうせん割りゲームや人間ばんば、氷上つなひき、宝探しゲーム、氷上アメ玉ばらまきなどを行っています。その中でも1番の人気を博しているのは、地元の皆さんの協力を得て実施しているスノーモービル試乗体験のようです。

また、昼食に関しましても当協議会の役員や育成者などの地元の皆さんの協力を得て、おにぎりやお茶、焼き肉、焼きそば、豚汁などを調理し子ども達に提供しています。現在は行っていませんが、過去にはうどんやホットミルク、羊や豚の丸焼きなどを提供したこともありました。

参加した子ども達は、普段から外で遊ぶ機会が少なくなってきたせいとか、大勢の友達と外で思いっきり冬を満喫できるゲームを行えるということもあって、寒さを忘れて夢中に遊んでおり、「楽しかった」、「また参加したい」と喜んでくれています。そんな子ども達の笑顔を見られることが何よりも嬉しく、私達の励みとなっています。

(2) 南十勝地域子ども会交歓会

南十勝地域子ども会交歓会は、大樹町と中札内村、忠類村の3町村で協力して持ち回り開催していましたが、忠類村が幕別町と合併したことを契機に、大樹町と中札内村の2町村で協力して隔年開催しています。

当初は、ミニバレーやドッジボールなどの屋内競技をメインに交流を図っていました。近年は、大樹町の子ども冬まつりと中札内村の冬季野外レクリエーションに兼ねて実施しており、屋外での交流を図っています。

今後も、大樹町と中札内村とで協力し合いながら、継続して広域的な親睦と交流を図っていきたくと考えています。

(3) 大樹町地域子ども会春季ミニバレー大会

大樹町地域子ども会春季ミニバレー大会は、大樹町発祥のスポーツであるミニバレーを通じて、青少年の健全育成を推進するとともに、冬季期間の健康増進と体力づくりに資することを目的として、小中学生を対象に毎年開催しています。

この大会は、大樹町青少年健全育成推進町民の会や大樹ライオンズクラブ、大樹町ミニバレー協会、大樹町女性団体連絡協議会、当協議会の役員や育成者などの地元の皆さんに審判や昼食提供などの協力を得て開催されています。

参加チーム数は年々減少傾向にありますが、プレーする子ども達のみならず応援する親の皆さんにも力が入り、会場全体が大いに盛り上がっている中で、熱戦が繰り広げられています。

子ども会活動における問題点

郡部の子どもの減少に伴い、平成21年に石坂小学校、平成23年に中島小学校、平成25年に尾田小学校と尾田中学校が閉校しており、現在は町内に小中高등학교がそれぞれ1校ずつ配置されている状況にあります。郡部でも積極的に活動している地域子ども会はありませんが、子どもの絶対数の低下の影響で活動を継続することが困難になっているところもあります。こうした状況を勘案すると、地域子ども会のみならず当協議会の活力が失われてしまうのではないかと懸念せざるを得ません。

子ども会活動における今後の展望

近年は郡部の地域子ども会を復活させて活動を再開し始めたところもあり、当協議会としても継続して事業を展開し、粘り強く活動していくことが重要であると考えています。今後も、地域子ども会との連携を強化するとともに、町内のすべての子ども達の健全育成に寄与していきたいと強く考えております。

活動の写真



写真の説明

南十勝地域子ども会交歓会
「ドキドキふうせん割りゲーム」の様子

活動の写真



写真の説明

南十勝地域子ども会交歓会
「人間ばんば」の様子

活動の写真



写真の説明

南十勝地域子ども会交歓会
「氷上つなひき」の様子

活動の写真



写真の説明

南十勝地域子ども会交歓会
「氷上アメ玉ばらまき」の様子